

出典

● 報告書

地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2009) : 「全国地震動予測地図」報告書 2009年版
地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2009) : 「全国地震動予測地図」技術報告書 2009年版
地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2010) : 「全国地震動予測地図」報告書 2010年版
地震調査研究推進本部 政策委員会 成果を社会に活かす部会 (2000) : 「政策委員会成果を社会に活かす部会報告－地震調査研究における長期評価を社会に活かしていくために－中間報告－」
地震調査研究推進本部 政策委員会 成果を社会に活かす部会 (2005) : 「地震調査研究推進本部政策委員会成果を社会に活かす部会報告－地震動予測地図を防災対策等に活用していくために－」
内閣府 (2005) : 「地震防災マップ作成技術資料」

強震動評価と「震源断層を特定した地震動予測地図」の各報告書は以下を参照のこと

● ホームページ

地震調査研究推進本部

<http://www.jishin.go.jp/main/index.html>

防災科学技術研究所 地震ハザードステーション J-SHIS

<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>

● 引用文献

藤原広行 (2007) : 統合化地下構造データベースの構築に向けて, シンポジウム「統合化地下構造データベースの構築に向けて」予稿集, 9-22

藤原広行 (2012) : 地震ハザード評価における課題, 安全工学, 第50巻, 第6号, 360-366.

Geller, R. J. (2011): Shake-up time for Japanese seismology, *Nature*, **472**, 407-409.

石川裕・奥村俊彦・藤川智・宮腰淳一・藤原広行・森川信之・能島暢呂 (2011) : 確率論的地震動予測地図の検証, 日本地震工学論文集, 第11巻, 第4号, 68-87.

地震調査委員会: 震源断層を特定した地震の強震動予測手法(「レシピ」)(平成20年4月11日改訂).

額瀨一起 (2011) : 日本付近の主な被害地震年代表, 「平成24年理科年表」, 国立天文台編, 丸善出版, 720-753.

Stein, S., Geller, R. J., M. Liu (2011): Bad assumptions or bad luck: why earthquake hazard maps need objective testing, *Seismol. Res. Lett.*, **82**, 623-626.